



ビジネス書籍 トレンド情報

《ビジネス書人気ランキング5》

経営者はもちろん、学生にも役立つ新刊・ビジネス書のおすすめをランキング形式でご紹介します。



【第1位】  
ジエイソン流お金の増やし方  
著者／厚切りジエイソン  
出版社／ぴあ

ジエイソン流、シンプルなお金の増やし方。表現が直球で、何よりわかりやすいのが人気です。「Why? お金を増やしたいのにどうしてなにもしないの?」

【第2位】数値化の鬼  
著者／安藤広大  
出版社／ダイヤモンド社

「客観的に自分を見ろ」それができるモノサシになるのが「数字」。仕事ができる人の共通する思考法が「数値化」。感情で議論するのではなく、誰の目にも明らかな基準を設けて、割り切る、数値化の鬼になる思考法を紹介しています。

【第3位】佐久間宣行のずるい仕事術  
著者／佐久間宣行  
出版社／ダイヤモンド社

今話題の46歳のヒットメーカー。入社当時、壁にぶち当たって、「やるぞ!」と心に決めてから20年かけて習得した、仕事術。合理的最強ツール「ホウレンソウ」を使い倒せ!など、「やるぞ!」決めたらすぐにマネできそうな仕事のコツ満載。

【第4位】Excel株投資  
著者／森口亮  
出版社／KADOKAWA

チャイナショックで無一文から、3年で資産10倍にした著者のExcelを使った株投資術。超効率的な「ファンダメンタル分析」入門。分析方法をとても具体的に書いてあるので、取り組みやすい一冊。

【第5位】言いかえ図鑑  
著者／大野萌子  
出版社／サンマーク出版

ロングランで売れてる本。言い方ひとつで、受け取り方がまったく変わってしまう…人間関係を言い方で損しないために、この一言は×、それを○の一言(好かれる一言)に変える方法を具体的にお教えします。

店長おすすめ! 今話題の1冊

月約6,000冊もの書籍が発刊されており、年間では7万冊にも及ぶといわれています。数ある本の中から、店長おすすめ、今話題の「旬の一冊」をご紹介します。

【今話題の1冊】

1日1話、読めば心が熱くなる  
365人の仕事の教科書

1日1話、  
読めば心が  
熱くなる  
365人の  
仕事の  
教科書

30万部  
突破!!  
2020年ブック大賞  
読者  
が選ぶビジネス書  
グランプリ2022総合グランプリ 第1位

著者／  
藤尾秀昭、稻盛和夫他  
出版社／致知出版社

稻盛和夫さん、羽生善治さん、平尾誠二さん…活躍するジャンルは違っても何かを成し遂げた人の言葉は心に響く何かが必ずある! 仕事や人生のヒントに一日一話いかがでしょうか? 2022年読者が選ぶビジネス書グランプリの本。

協力:伊吉書院 八戸西店

story 表紙のはなし

【表】国重要文化財 南部利康霊屋(なんぶとしやすたまや)

【裏】史跡 聖寿寺館跡案内所(しょうじゅじたてあとあんないじょ)



南部利康は南部氏27代・利直の四男。一族である南(みなみ)氏を継ぎ五千石持領の浅水城主となるも、24歳で逝去します。そこで父・利直が「南部利康霊屋」を創建(寛永8~9年(1631~32))。極彩色の霊屋からは桃山様式による霊廟建築の一端がうかがい知れ、その貴重さから国の重要文化財に指定されています。

そして霊屋の南側に広がるのが国指定史跡「聖寿寺館跡」。室町～戦国時代にかけて南部氏が本拠地とした城の跡で、建物跡は南北36m、東西42mと東北最大規模。さらに南部氏の菩提寺のある三光寺地区、氏神である本三戸八幡宮地区の3地区で構成されます。

南部町では、これらの歴史遺産を紹介するため案内所を設置。実際に発掘された約500年前の高級陶磁器や武具などの遺物を展示しており、史跡ガイドの案内で建物跡や堀跡をめぐれば、北東北最大の戦国大名・南部氏の歴史を体感できます。

南部町では、これらの歴史遺産を紹介するため案内所を設置。実際に発掘された約500年前の高級陶磁器や武具などの遺物を展示しており、史跡ガイドの案内で建物跡や堀跡をめぐれば、北東北最大の戦国大名・南部氏の歴史を体感できます。

〈史跡聖寿寺館跡案内所〉  
〒039-0104 青森県三戸郡南部町小向正寿寺字81-2 ☎0179-23-4711



154

HACHINOHE HOUPJINKAI NEWS

法人会員の皆様は、自主点検チェックシートを活用した場合には「法人事業概況説明書」表面8(5)社内監査の欄に(法人会 自主点検チェックシート)と、また裏面17加入組合等の状況の欄には、(八戸法人会会員)と記入しましょう。

株式会社類家大学堂薬局 取締役会長 類家徳昌

【発行】公益社団法人八戸法人会 〒031-0076 八戸市堀端町2-3〈八戸商工会館内〉

TEL:0178-45-0107 FAX:0178-45-2419 【編集】八戸法人会広報委員会 【編集担当】類家徳昌

【発行日】令和4年7月1日 【HP】http://houjinkai.zenkokuhojinkai.or.jp/hachinohe/

はちのへ法人会ニュース

# やほー

HACHINOHE  
HOUPJINKAI  
NEWS

八戸法人会  
2022.07.01 発行

154

**定時総会**

- ② 令和3年度事業報告・決算承認・令和4年度新事業を報告
- ③ 理事会 令和3年度決算他総会提出議案を承認
- ③ 青年部会・女性部会・三戸支部・五戸支部 通常総会を開催
- ④ 経営者物語 祈りの場から最新の情報通信まで 暮らしを支える“壁の裏側の力持ち” 株式会社本田電気工業 代表取締役 本田篤さん
- ⑥ 経営セミナー 給与計算と社会保険手続について 税理士セミナー 事例で分かる相続税対策

法人会は税のオピニオンリーダーとして  
企業の発展を支援し  
地域の振興に寄与し  
国と社会の繁栄に貢献する  
経営者の団体です

## 令和3年度事業並びに決算を承認 令和4年度事業計画並に予算を報告

6月16日、八戸プラザホテルにて第10回定時総会を3年ぶりに八戸税務署の新井場敏勝署長、八戸市財政部品田雄智部長他、9名の来賓をお迎えし開催しました。

総会に先立ち、八戸税務署の本田辰也副署長が講演。「税の役割と税務署の仕事」と題し、税の基礎知識から最新の税務事情などについて分かりやすく解説しました。

続いて開催された総会には622名（うち委任状出席者520名）が出席。始めに横町会長が挨拶を行い議長とし報告事項令和3年度事業並びに決算を承認の後、報告事項令和4年度事業計画並びに収支予算、そして新規事業である健康診断優待制度の進捗状況を報告しました。閉会に際しては新井場敏勝八戸税務署長、八戸市の品田雄智財政部長が挨拶。品田氏は「持続可能な地域社会、地域経済の活性化には、企業などの理解を得ながら安定した税収を確保することが



不可欠。税務行政への理解と貢献に感謝するとともに今後も協力をお願いしたい」と熊谷雄一市長の挨拶文を代読しました。

閉会後は、令和3年度会員増強にご協力頂いた福利厚生制度協力3社の推進員3名を表彰しました。



▲ 福利厚生制度協力会社 推進員表彰  
アフラック(左) 吉田源一郎氏(奥)  
AIG損保(中) 壱生誠氏(中)  
大同生命(右) 稲荷支社長(前)

### 令和3年度正味財産増減計算書

(自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日) (単位:円)

基 本 財 産 運 用 益	200
特 定 資 産 運 用 益	34
受 取 会 費	11,838,200
事 業 収 益	1,215,500
受 取 補 助 金 等	8,968,980
受 取 負 担 金	680,000
雜 収 益	600,138
經 常 収 益 計	23,303,052
事 業 費	19,006,739
管 理 費	4,562,582
經 常 費 用 計	23,569,321
当期一般正味財産増減額	△ 266,269
一般正味財産期首残高	24,326,116
一般正味財産期末残高	24,059,847

## 令和3年度決算ほか 総会提出議案を承認

5月19日、八戸プラザホテルにて理事会を開催し、横町俊明会長を筆頭に役員25名が出席。横町会長が議長を務め、総会提出予定の2議案を審議しました。はじめに、第1号議案令和3年度収支決算を報告。会員増強の結果会費収入増、新型コロナウイルス流行で縮小・中止したセミナー等を実施したため経常費用増など、令和2年度と比較して大きな変更があった点を説明しました。第2号議案定時総会招集関連事項も含め、これらの議案はすべて原案通り承認されています。

続いて石橋信雄総務委員長が、令和3年度会員増強表彰および令和4年度会員増強に係る方針について報告。令和3年度は純増17社、チームごとの入会者数では1位社会活動委員会、2位総務委員会、3位青年部会となりました。また令和4年度の会員増強目標は55社と報告しました。最後に来賓を代表して新井場敏勝八戸税務署長が挨拶に立ち、日頃の感謝とともにインボイス制度の紹介などを述べました。



横町俊明会長

## 第28回通常総会開催

### 講演聴講に続き令和3年度決算、4年度予算承認

青年部会（山田修也部会長）は5月17日、八戸パークホテルにて第28回通常総会を開催。来賓に新井場敏勝八戸税務署長ほかを迎え、会員72名（うち委任状出席46名）が出席しました。

議事に先立ち、第1部では外部講師2名による講演を聴講。初めに八戸警察署交通第一課安全教育係の青森県警警部補安重徹氏が、八戸警察署管内の交通事故状況と道路交通法の一部改正をテーマに講演し、「交通事故に特効薬はありません」と一人ひとりの安全意識、職場での交通安全の重要性を訴えました。次に（株）デンソーソリューション東北支社の徳高慎一郎氏が登壇。アルコール検知器義務化の要件、選び方などを説明し、「従業員の命、会社の信用を守る意味でも確かな性能の検知器を選んで」と呼びかけました。

第2部の議事では、令和3年度の事業・決算報告と令和4年度事業計画・予算を審議。小・中学校での租税教室など、税務関連事業の普及促進活動を今年度も継続する方針を確認し、出席者の拍手によって承認されました。

最後に令和3年度卒業生が挨拶。先輩の活動にかける思い、次世代へのエールを聞いた出席者が惜しみない拍手を送り、和やかな空気の中で閉会となりました。



山田修也青年部会長



講師：  
八戸警察署交通一課  
青森県警警部補 安重徹氏

講師：  
（株）デンソーソリューション  
東北支社  
徳高慎一郎氏

## 第25回通常総会開催

### 令和3年度決算、4年度予算承認

女性部会（木村禮子部会長）は6月1日、八戸パークホテルにて第25回通常総会を開催。来賓に本田辰也八戸税務署副署長ほかを迎え、会員35名（うち委任状出席18名）が出席しました。議事では、令和3年度の事業・決算報告と令和4年度事業計画・予算を審議。「税に関する絵はがきコンクール」の活動や「種差海岸清掃活動」等の活動を今年度も継続方針を確認し、出席者の拍手で承認されました。

議事終了後、昼食会を挟んで行われた講演会は、獣医学博士で健康動物病院院長・北里大学名誉教授の樋口誠一氏が「人と動物の幸せの感じ方」と題して、人も動物も健康であることが幸せなことであると語り、出席者は興味深く聞き入っていました。



講師 樋口誠一氏

## 三戸支部通常総会開催

三戸支部（石龜和郎支部長）は、6月7日住谷野で出席者76名（うち委任状出席者53名）にて通常総会を開催しました。第1号議案令和3年度事業報告並びに収支決算、第2号議案令和4年度事業計画並びに収支予算を原案通り決定しました。



石龜和郎支部長

## 五戸支部通常総会開催

五戸支部（小坂章支部長）は、4月27日アビル五戸で出席者57名（うち委任状出席者39名）にて通常総会を開催しました。第1号議案令和3年度事業報告並びに収支決算、第2号議案令和4年度事業計画並びに収支予算を原案通り決定しました。



小坂章支部長



## 経営者物語

”壁の裏側の力持ち“  
暮らしづを支える  
最新の情報通信まで  
祈りの場から

株式会社 本田電気工業  
代表取締役

ほん だ あつし  
**本田 篤さん**

設計・施工・メンテナンスを  
一貫して行える職人揃い。  
神社仏閣に強み

多くの人が毎日のように使うスマートフォン、パソコン、テレビ、エアコン。指先一つで照明がつき、買い物ができる便利な暮らしへ、電気なくしては叶いません。建物の壁の裏側に電気配線し安定的な電力供給を支える電気工事業は、”縁の下の力持ち”ならぬ“壁の裏の力持ち”。

南部町名川地区にある本田電気工業は電気工事一筋50年余り。主に青森県南から岩手県北にかけて、集合住宅やオフィス、店舗など各種施設の電気工事設計・施工、メンテナンスまで幅広いニーズに対応しています。中でも得意としているのが神社仏閣。

「木造伝統建築である社寺には、他の建物と違い壁の中に空洞がありません。床下や天井裏の配線を建物内のどこでつなげるかがポイントですが、構造、建築の特徴などを熟知していないと難しい」と話すのは、同社代表取締役の本田篤さんです。

経営者として12名のスタッフをまと

める一方、研究を重ねながら自ら図面を引き、近隣の多くの神社仏閣の電気設備を整えてきました。その実力は、岩手県や秋田県、関東地方からも依頼がくるほどです。

「伝統工法への施工から最新の情報通信設備も扱う。地道な仕事な上に、手法や商品が短い時間で変わるので勉強が欠かせない。大変なことが多いですが、思い通りの電気設備ができ上がった時は何度も嬉しいですね」と職人の誇りをのぞかせた本田さん。本田さんははじめ現場スタッフ全員が電気工事士第一種・二種いずれかの有資格者で、設計から施工まで一貫体制が整っていることも同社の強みです。

寝る間を惜しんで  
図面と向き合った20代  
帰郷後は兄弟3人力を合わせて

父・末太郎さんが電気工事事業を興したのは本田さんが小学5年生の頃。長男の本田さんは家業を支えようと、岩手県立福岡工業高校（二戸市）、八戸工業大学で電気技術を学びました。卒業後は大田区の電気工事会社・聖徳電気工事に就職。460世帯のマンションを一人で配線設計するなど、現場監督としてホテル、オフィスビルといった大型施設の電気配線図面作成から施工管理までを手がけました。昼は現場に立ち、夜は図面と向き合う。寝る間もないほどの忙しさでしたが、チャレンジを歓迎する社風は20代の本田さんに合っていたといいます。

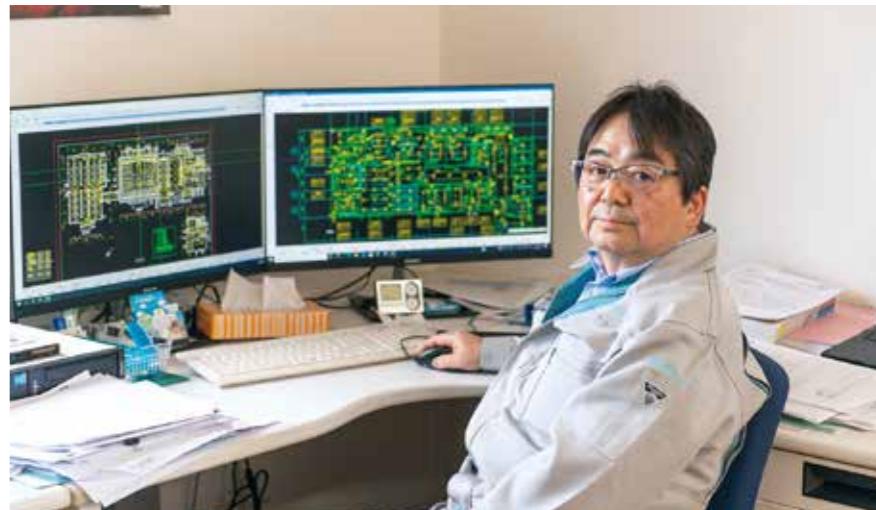
「自社の職人はもちろんビルダー、設備業者、鉄骨・鉄筋業者と、関係者と対等に話せないと現場が遅れるわけです。コミュニケーション能力が否応なく鍛えられた（笑）」

30歳でUターン後も縁は続き、同社が抱える現場の図面作成を継続。本業のかたわら図面を引いては、在来線と新幹線を乗り継いで東京に届けていたといいます。

90年代に入り設計支援ソフトCADが普及し始めると、地元の仕事に専念できるように。工務店と組んで神社仏

### profile

1957年 三戸郡南部町（旧：名川町）生まれ  
1980年 八戸工業大学工学科卒業  
1986年 聖徳電気工事（大田区）入社  
本田電気工業（個人事業）従事  
1990年 本田電気工業有限会社化  
2006年 同 代表取締役就任  
2012年 同 株式会社に組織変更



CADにある社寺の電気工事設計

るのだから、自ら考えて現場を回せる力をつけ長く働いてほしい」

地域の人口減少と少子高齢化を冷静に見つめ、“大きく”より“長く”を意識。すでに定年退職した社員の再雇用を実行しています。

「体を動かさなくても工事の段取りをするとか、その時できることをやる姿が後輩のモデルになると思います。技術がつながっていくよう、社員に任せられるところは任せるようにしていますね」

70歳まで安心して働く  
会社を目指す  
技術と信頼を  
次世代へつなぐ道を模索中

本田さんは現在65歳。自身のキャリアについて「生涯、現役でありたい」と話すと同時に、地域の各団体が開催する事業承継セミナーなどに積極的に参加し、次世代にバトンを渡す道を模索しています。その中で課題と感じているのは業界全体の人手不足。

「生活も経済も、エネルギーがないと始まらない。電気工事の仕事は社会からなくならないし、なくしてはいけないとも思います。新たな手法が生まれればすぐそれを実現する技術の習得が必要になる、変化の大きな仕事でもありますが、それを若い世代が成長のための刺激的と捉えて挑戦してくれたら。経営者の責務は、安心して働く、チャレンジできる環境を作ること」

経営者として「会社を大きくしたいとは考えていないんです」とか。目指しているのは「社員が70歳まで働く会社。せっかく国家資格を持ってい



株式会社 本田電気工業

【創業】 1968(昭和43)年  
【事業内容】 一般電気工事  
【所在地】 南部町上名久井屋ノ前13-4  
【連絡先】 0178-76-2549

## 講義と実践で身につける 給与計算・社会保険手続

5月18日、八戸プラザホテルにて経営セミナーを開催。昨年に続き特定社会保険労務士の竹山文氏(竹山文社会保険労務士事務所・台東区)を講師に迎え、休憩を挟みながら約3時間にわたって行いました。竹山氏は最新の法改正をふまえ、給与計算と社会保険手続についてレクチャ。計算方法、記入方法、間違えやすいポイントまで細かく指導しました。30名余りの参加者はセミナー中に実際に賃金台帳を作成。持参した電卓で計算し、質問するなどして知識を身につけていきました。



講師:  
特定社会保険労務士  
竹山文氏

## 相続税は事前準備が肝心! 事例でわかる相続税の生前対策

5月12日、八戸プラザホテルにて税理士セミナーを開催しました。講師を務めた佐藤修一税理士(佐藤修一税理士事務所・八戸市青葉)は「家族の死から始まる相続は避けて通れず、いつ訪れるかも分からぬ。元気なうちに準備を始めることが大切」と生前対策の重要性を訴えました。約2時間の講義では、相続・贈与の仕組みから不動産、金融資産など相続財産の内容別の対策まで、事例や語呂合わせを交えて解説。31名の参加者はメモを取るなどしながら聞き入っていました。



講師:税理士  
佐藤修一氏

## 新入社員税金教室

4月8日に青い森信用金庫の新入職員、5月13日には集合研修で青森税務署税務広報広聴官を講師に「新入社員税金教室」を開催しました。講師より税金は約50種類の税金があること、社会人としての税金知識及び毎月の給与収入から引かれる税金の説明を受け、参加者は熱心に講師の話に聞き入っていました。



4月8日 青い森信金研修会



5月13日 集合研修会

## 租税教室開催

青年部会(山田修也部会長)は、税の担う役割と重要性を理解していただき税の使い道を考えもらう機会として、八戸税務署から依頼を受け租税教室を開催しました。

小学校6年生を対象に5月27日の三戸小から開始し、6月2日は桔梗野小、6月3日は多賀小、6月7日は吹上小、6月8日は福田小、6月14日は切谷内小、6月23日は江南小、6月30日は五戸小と8校開催しました。7月以降も租税教室を開催し令和4年度は小学校15校、中学校1校の開催予定です。また女性部会(木村禮子部会長)は、租税教室当日に女性部会役員が、「税に関する絵はがきコンクール」の募集をお願いしました。



R4.6.3 多賀小学校



R4.5.27 三戸小学校



R4.6.8 福田小学校

## 特別講演会のお知らせ 講師 二宮清純氏

開催日:令和4年9月8(木)  
時 間:18:30~  
場 所:八戸市公民館

●申込方法等は、後日ご案内するチラシ等にてご確認ください。

### 八戸法人会 HP「会員名簿」

会員の皆様に記載募集しておりました「法人会会員名簿」は、7月中旬リリース予定です。ぜひ、ご覧ください。「法人会会員名簿」は、随時募集しておりますので、事務局へご連絡ください。



HPアドレス:  
<http://hojinkei.zenkokuhojinkai.or.jp/hachinohe>

八戸法人会HPの「会員名簿」  
バナーをクリックしてください。

## 税理士コラム

### 税務調査とグレーゾーン

馬場義継税理士事務所 税理士 馬場 義継

皆さんは、新聞等の大会社の税務調査の報道で「税務当局との間で見解の相違があったが、税務当局の指導に従って修正申告をしました」などというコメントが会社側から発表されることを目にしたことがあると思います。税務当局の処分に不服がある場合は不服申立を行うことができますが、あまり聞いたことがないのは何故かというと、実際に異議申立や審査請求、更に訴訟までと考えた場合、経済的あるいは精神的負担と課税処分とのバランスを勘案した結果、申立をしない方が良いと考えてのことなのでしょう。

以上は大会社の例ですが、中小企業の会社の税務調査においても同じようなことがあります。税務署には法人課税部門の中に調査担当と審理担当という2つのセクションがありますが、調査担当者が調査した結果を審理担当者が法令等に照らして誤りがないかチェックを行います。また審理担当は納税相談に応じたりもしていますが、納税相談の回答によって作成した帳簿が税務調査によって問題ありと取り上げられることがあります。

これは審理担当が税務相談を受けた際、相談者からの一方通行かつ限定的な情報を元に回答するため、どうしても一般論として回答することが多くなっています。

まことに原因のようです。このような場合、調査担当と審理担当のどちらの判断が優先されるかと言えば、調査官の判断の方が優先される傾向があります。これは一般論としての回答よりも、多角的な情報と具体的な証拠物証に基づいた調査結果の方がより正確性があると判断されるからです。

次に、調査に関連して、節税と脱税及びその中間のグレーゾーンに位置する租税回避行為について述べてみたいと思います。節税は、租税法規の定めるところに従い税額の減少を図ることであり、即ち各種の減免措置の適用を受けるための形式的、実質的要件を満たすことにより、税額の減少を図るのがその例であり、企業経営にとってむしろ当然のことです。この際租税実体法からみて正義に反することなく、かつ公正妥当な会計処理基準による決算処理を行い、適時整然かつ明瞭に、正確かつ網羅的に正しい会計帳簿に基づいた申告をすることが重要です。また、脱税は、偽りその他の不正な行為によって意図的に所得の税額の全部または一部を隠す行為であり、具体的には二重帳簿の作成や帳簿書類の隠匿などです。

この節税と脱税の中間のグレーゾーン

に位置するものとして「租税回避行為」と呼ばれるものがあります。形式的に問題はないものの、一連の行為が当初から課税逃れを意図したものであり、社会通念から見て異常、不合理な行為による租税の回避軽減を図ることと言われております。

先日、路線価によって計算した相続税を税務署より否認され、追徴課税を課された一件について、最高裁で課税処分を取り消しを求めた上告を棄却するという判決が出されました。これは「路線価による評価」という点で形式的に問題はなかったものの、「この評価では評価額が著しく不適当である」という疑義があり、追徴課税、そして不服申し立ての棄却という流れにつながりました。

このようにグレーゾーンに位置する租税回避行為は、その行為に経済的合理性が認められれば「節税」になる可能性がある一方、疑義があれば「脱税」と判断されることもありますので、見解の相違によっては適法にも違法にもなりうる租税回避行為。多角的な視点で検討されることをお勧めいたします。

### 税務署からのお知らせ

#### 年末調整等に関するパンフレットの送付について

例年、年末調整の時期に、源泉徴収義務者の皆様へ、「年末調整のしかた」、「源泉徴収税額表」及び「給与所得の源泉徴収票等の法定調書の作成と提出の手引」を送付しておりましたが、今後は、これらのパンフレットに代えて、改正事項(昨年からの変更点)や国税庁ホームページなどを案内したリーフレットを送付いたします。

皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

#### ～年末調整等に関するパンフレットは国税庁ホームページをご覧ください～

年末調整等に関するパンフレットは、9月下旬頃に、国税庁ホームページの「年末調整がよくわかるページ」に掲載いたします。

お問い合わせ/八戸税務署法人課税第一部門 ☎0178-43-0145